

邦人安全対策協議会

「毒」

平成25年12月7日

在ケニア大使館 医務官 宮村治男

身近な所に「毒」はある

1. 植物
2. 薬物
3. 食物
4. 日用品
5. 毒でないが「危険物」

チョウセンアサガオ (Datura)



- ナス科の観用植物、別名「天使のトランペット(Angel's trumpet)」
- 開花時期は夏~秋
- アルカロイド(ヒヨスチアミン、アトロピン、スコポラミン)を含む
- 副交感神経ブロック作用あり。食べると、嘔吐・瞳孔散大・頻脈・けいれん・呼吸困難などが起こりうる
- 有害部位:根・つぼみ・実(種子)

ジギタリス



- 強心配糖体と呼ばれる薬物の原料となる
- 心筋収縮力を高め、利尿作用を持つ
- 過量投与では不整脈や嘔吐・腹痛の原因となる

イヌサフラン(ユリ科)



- サフランという名が付いているが毒性が強く、食材には用いられない。
- 種子はアルカロイドを含み、末梢性血管麻痺作用があり、痛風発作を抑える薬(コルヒチン)の原料となる。
- 誤食すると、腹痛・嘔吐・下痢などの症状が出る。

トリカブト 猛毒



- ジテルペン系アルカロイド(アコニチン)を含む毒草
- 中毒量(葉1~2枚)を摂取すると口唇・皮膚の灼熱感、嘔吐、下痢、めまいを起こす。進行すると中枢神経麻痺、呼吸困難から死亡する事もある

身近な有毒植物

(夾竹桃、スズラン、福寿草、モロヘイヤの種)



アジサイ(紫陽花)

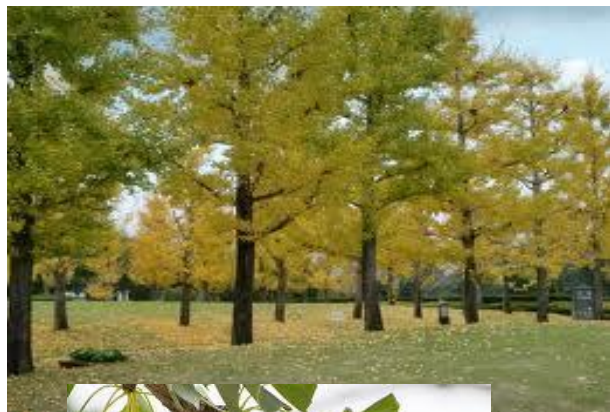


- 薬：花びらを乾燥させたものは、風邪・発熱・咳などの症状を治める作用がある。
- 毒：葉・根に青酸配糖体アミグダリンを含む。めまい・嘔吐・昏睡などの中毒症状を起こす。

身近な有毒植物



- 梅の実も未熟なうちは青酸配糖体アミグダリンを含む。(ただし200個以上食べないと中毒量には達しない。)



- イチョウの実の外種皮はフェノール物質を含み、皮膚に触れるとかぶれる。腐ると悪臭を放つ。
- 銀杏は美味しいが、大人で20個以上、幼児で5個以上食べると、胃腸障害・痙攣などの症状がありうる

ジャガイモの芽



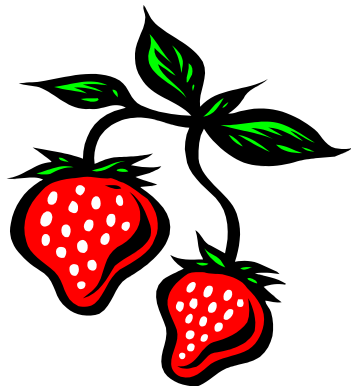
- アルカロイドのソラニンを含み有毒
- 誤って食べると、嘔吐・下痢・呼吸困難を起こす

乳児に蜂蜜は危険



- 約5%の蜂蜜にはボツリヌス菌芽胞が含まれるという報告あり
- 1歳未満では腸内細菌叢が未発達のため、菌が発育して毒素を出す

甘い果実に毒は無い？



- 自然界に存在する甘い物は一般的にカロリー豊かで栄養的にも優れている。霊長類にとって「甘いはうまい」。
- 苦味は毒のシグナル？ 霊長類は苦い植物は口にしない。

甘くても有毒な果実はある！



- イチイの実は柔らかくほんのりとした甘味がある。
- 果肉に毒性はないが、中心部の種子はタキシンという有毒物質を含む。心臓に作用し、不整脈を起こす。

ドクウツギ(サルコロシ) 猛毒



- 日本では本州以北の山地に自生する落葉低木(1.5m位)。
- 果実は始め赤く、後で紫・黒色に熟し、**甘みがある**。
- 果実にはコリアミルチンという毒素がある。
- 誤食すると、痙攣を起こして死に至ることがある。
- 学名 : *Coriaria japonica*

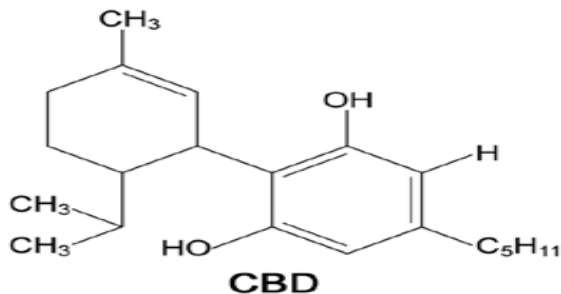
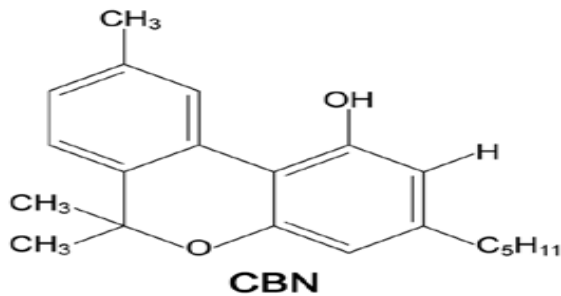
ケニアで問題になっている植物: ヒアシンス



- ナイバシャ湖などの水辺に多く繁茂する。
- 水ヒアシンスの根には細菌が繁殖し易い。
- コレラの流行は水ヒアシンスの繁茂地に多い。
(下水道不備の問題であり、ヒアシンスの責任ではない)

脱法(違法)ハーブ

- 乾燥した植物片に人為的に化学物質(カンナビノイド:大麻と類似の作用)を入れた製品
- 吸飲により、多幸感・陶酔感・幻覚が出る。同時に、嘔吐・呼吸困難・心不全が起きる事も。



密造酒

- ケニア国内には様々な密造酒がある。
- すべてが毒ではないが、工業用メチル・アルコールを使用した物もある。飲むと視神経が変性し、失明する事がある。



乳幼児(特に1~3歳)は何でも口にする。要注意。

